

子どもに夢を！たくましく豊かな創造性を！

2024年9月15日

第30号

すくらんぶる

活動情報

- 9/10 地域文化事業事務局会議
- 9/24 乳幼児部会
- 9/26 理事会
- 9/28 県内高校生青年交流会
実行委員会
- 10/15 地域文化事業事務局会議
- 10/25 2025例会企画
県内調整会議
- 〃 劇場代表者会議
- 10/29 2025例会企画
九州沖縄調整会議
- 11/12 全国調整会議

〈学習交流企画〉



中ムラサトコ & 浅野佳砂音 トークセッション

乳幼児とのかかわりが気づかせてくれるもの
～ありのままがいいと言われるけど...～

6月7日(金) 諫早市・本野ふれあい会館

ベビーシアター「ぐるぐる」で共演する二人の舞台アーティスト、サトコさんと佳砂音さん。その生き方にふれることで自分のことをみつめてみる機会に、そして、子育て中の人や乳幼児活動に関わる人が共に学び交流する機会になればと、九州沖縄地方子ども劇場連絡会乳幼児部が企画し、長崎県子ども劇場連絡会の主催で「トークセッション」を開催しました。



当日は27名が参加しました。佳砂音さんによる「ほぐしあそび」のあと、県内各子ども劇場から乳幼児部活動の発表があり、そのあとに聞き手による進行で「トークセッション」。もともと劇団青芸で出会ったお二人。自分がやりたい表現のかたちを模索していたサトコさんに、海外のベビーシアターと出会って、自分も挑戦してみたいと思っていた佳砂音さんが「やるならサトコさんと!」と声をかけ、「ぐるぐる」を制作。偶然にもお二人にはそれぞれに障がいをもったお子さんがいて、自身の子育てにもいろいろ苦労しながら、作品とともに育ってきたとのことでした。ある公演の時、ずっと舞台に背中を向けていた子どもが公演が終わってから「もう一回!」と言ったことがあり、乳幼児は身体全体でこの場・空間を感じ取っているんだ!と、そんな出会いの積み重ねの中で子どもが持つ力への信頼感と、自分たちが表現することへの安心や自信が持てるようになっていったそうです。



親はつい「成長してもらいたい」「もっとよくしたい」と思って与えようとしてしまうが、子どもが本当に喜ぶことを一緒になって楽しむこと、親自身が安心して自分であることを大事にしてほしいと話されました。日々の子育ては大変。疲れたり、パートナーとの間で行き違いが生じたり、つい肩に力が入ったり…。そんな時、話を聞いてくれたり、「大丈夫大丈夫」と気持ちを楽にしてくれる仲間、自分にとっての安心できる場。乳幼児部の取り組みの大切さをあらためて感じる機会となりました。

〈参加者の感想より〉

本日は素敵なトークをありがとうございました。お話の中で特に印象的な言葉がありました。「自分ファースト」「自分は自分なりの生き方」「こうでなければならない、じゃない」、これらの3つの言葉は私の心をスッキリと軽くさせてくれました♡私は18才で長女を出産しました。世間的には「若いママ大丈夫?」と言われたこともあります。その当時の私は「しっかりした母親にならないと」「母親を頑張らないと」とばかり毎日思っていました。ですが、中ムラサトコさん、浅野佳砂音さんのお話の中に「こうでなければならない」じゃない!“お母さんが生き生きしていることが子どもにとって一番嬉しい事”この言葉を当時の私に聞かせてあげたい。きっと心も軽く、楽しく子育てができていたんだろうな～なんて思いました。今後は、「こうでなければならない」じゃなく、「普通は、」とかにとらわれずに「自分は自分なりの生き方」「自分ファースト」でいいんだよって、子どもたちにも伝えながら楽しく子育てをやっていきます♡今、私すっごい幸せです♡ありがとうございました。(ながさき乳幼児部・Iさん)

第29回長崎県子ども舞台芸術祭典 <36主催38日42公演開催> 総参加者数 5380名

<ながさき子ども劇場窓口>

ながさき子ども劇場窓口の県南地域は、三井楽を含め10主催11公演が取り組まれました。特徴的なところとしては、9年ぶりに取り組んだ時津実行委員会、5年ぶりの会場・小江原ふれあいセンターでの開催、参加が広がり2ステージに増やしたスマイル実行委員会、初めての会場での公演にチャレンジした三重たのしまんば会などがありました。

久しぶりの取り組みに不安だった時津実行委員会も、新しいメンバーの若いパワーに地元人形劇サークルの力も加わり大盛況の公演になりました！新メンバーからの「貴重な経験が出来て良かった！ワクワクして楽しかった！」の声嬉しく、実行委員会では「ぜひ来年も」と話されています。

県南唯一の離島・三井楽バラモンキッズ実行委員会の公演は初の昼開催。なかなか事前申し込みが増えず心配でしたが、当日は夜開催とは違った小さい子を連れた親子の参加が多く、「あの笑顔を見たらやめられないな～！」と実行委員の次へのエネルギーにつながる公演となりました。



時津「さんまのおふだ」実行委員会

<佐世保子ども劇場窓口>

県北公演は13ヶ所の地域で祭典が実施されました。初年度から続けられている頼もしい地域もありますが、今年度は北松浦郡小値賀町で初めて公演が実現しました。実行委員長が、川棚公演を観たことがきっかけとなり、また、その熱い思いが周りの皆さんに伝わり18名の実行委員が集まりました。第一回実行委員会に参加させていただき、島外から嫁がれた方から「小値賀で公演ができることが嬉しい」と涙ながらに話され、その思いが胸に迫りました。



小値賀舞台鑑賞実行委員会

公演当日は、受付の飾りつけ、看板など皆さんのアイディアでそれはそれはお祭りのようでした。子育て中のご両親、年配の方々など参加者の波のような笑い声や感動が、心にしみました。

祭典窓口事務局として各地域の実行委員のみなさんから、毎年あたたかい感動をいただきます。

来年30周年に向かい地域の実行委員さんにまた、お会いできるのが楽しみです。

長崎県子ども舞台

芸術祭典は、地域の人たちが主体となって子どもたちに生の舞台芸術体験の機会をつくり、その取り組みを通して地域で温かく見守りあう大人のつながりと、子どもの豊かな心を育む文化的なまちづくりの促進を目指しています。

第29回祭典は県内を4つの窓口に分けて、それぞれの地域で主催される皆さんと一緒に取り組みをすすめていきました。

その中で今回初めて小値賀町で実行委員会が立ち上がり、地域の人たちの想いがつながって公演できたことは大きな喜びであり、パワーをもらいました。

<諫早子ども劇場窓口>

諫早窓口では、3作品6主催9公演でした。地域の大人が実行委員会を作った取り組みは、大村実行委員会ときてみんね！久山台実行委員会でしたが、一つの学童での取り組みではなく、諫早市内の複数の学童で構成している夢と笑顔の王国実行委員会の動きは特筆すべきものです。市の学童指導者会の際に取り組みの呼びかけだけでなく、取組後も報告をし、生の舞台芸術を観ている子どもたちの様子を伝えることを積み重ね、今年は新たに2つの学童と系列学童2つが加わり、3ステージの取り組みに広がりました。指導員のみなさんが、役割を分担し、更に子どもたちが自分事として公演を楽しみにできるように、プレゼント作りだけでなく、司会の子には文章づくりから任せ、観るだけではない関わり的大事さも話し合っていました。来年においては、更に学童も増えると考え、会場をもう一つ増やして取り組む案も上がっていました。祭典が、子どもたちと舞台芸術との出会いを考える大人たちの集う場になり、思い描く楽しさを共有する場にもなっていると思いました。



夢と笑顔の王国実行委員会

<県連窓口>

県連窓口の取り組みは、壱岐・対馬・島原・南島原・東彼杵町での7主催9公演でした。今年2回目の豊玉ふれあい広場では、夏休みの公演だったので、併設の学童利用の子どもたちも一緒に人形劇を楽しむことができました。

また、毎年当会のコーディネイト公演に取り組んでいる保育園が、地域の実行委員会主催公演に参加された時、「いつもの園で少人数で観る楽しさだけでなく、こうして大人数の中でたくさん笑いや歓声を身近かに感じながら観ることは、年中年長さんにはとても貴重な体験です。ありがとうございます。」と言われた保育士さんの言葉が印象に残っています。東彼杵町教育委員会では、参加者がもっとゆったりとした空間で楽しんでほしいと、初めて挑戦した1日2公演の取り組みは、新たな参加者を広げることにつながりました。

各地の公演を通して感じるのは、子どもと舞台芸術の出会いが大切!!という大人の想いとネットワークは、「地域」という土壌を豊かに耕しながら文化の種をまいている。これからも祭典を通して想いをつなぎ、たくさんの種の芽吹きと育ちを応援していきたいと思っています。



東彼杵町教育委員会

子どもたちの 「言いたい！決めたい！やってみたい！」



子ども劇場は、子どもの権利条約31条(子どもの文化権の保障)の実現をめざして日々活動しています。昨年開催した講演会の中での北島尚志さんの言葉に共鳴しこのコーナーが誕生しました。「子どもたちの“言いたい、決めたい、やってみたい”を大切にしよう！」という視点から、各地の子どもたちの姿や大人たちの取り組みを紹介します。

今回は、諫早子ども劇場・運営委員長の尾崎由美子さんに寄稿してもらいました。



今年の諫早子ども劇場の春バザーでの出来事。子ども実行委員を募ったら、1回目の実行委員会(3月)に集まったのが、年長から4年生の子どもたち。まず、実行委員長を決めることになり、1番年上のY君に打診したところ、「責任があるからできない…」との返事。確かに長となれば責任を伴うし、簡単には引き受けられないY君の気持ちはよくわかる。大人スタッフが「ひとりではがんばらなくていいのよ。みんなで実行委員長を支えるから一緒にやろう」と声をかけると、安心した様子で引き受けた。

1回目の話し合いは、これまでのあそびコーナーでしたことを洗い出し、「これは何回もしたから今回はやめよう」「自分たちの手作品を出したらどうかな？」など、子どもたち自ら決めて進めていた。大人スタッフはあくまで引き出す役割と、ちょっとした声かけを心がけた。

2回目の実行委員会では、細かな準備や担当決めを、実行委員長がみんなの意見を聴きながら進行していった。大人は、ほぼ口出すこともなく、「いいね!」と共感。魚釣りコーナーでは、折り紙の得意な子が周りの子に教えたり、手作品ではアイデアが次から次へと湧いてきたり、大人はとても思いつかない斬新なものができていた。どちらも自発的にやりだしたことに、「いいね!」と言ってくれる周りの仲間がいてくれたからこそだと思った。終いには、「目立つ看板を作ろう!」という声。まさに「言いたい!決めたい!やってみたい!」がどんどん膨らんだ実行委員会だった。

さて、4月のバザー当日、一体子どもたちは…。最初に、実行委員会に参加できなかった子どもたちを交え、役割担当や持ち場を離れる時は声をかけ合うことを確認しあって、それぞれが持ち場についた。チケット売り係を最後までやり遂げた1年生。通人たちに積極的に声をかけ、客足が遠のいた時、「もっとでかい看板にしよう!」とすぐさま取りかかる子どもたち。

人動販売機(自動ではない)のコーナーでは、「ジュースください」と頼むとすかさず「2本ですか?」と返ってくるという素晴らしい販売魂(?) また、「よく冷えている方をあげますね」なんて言われたら「2本ください」と言っちゃうではないか。コーラが売り切れてしまった時に、スーパーへ自ら仕入れに走った実行委員長の判断力と行動力に脱帽!

バザー子ども実行委員会と当日の子どもたちの姿から、『任せる』ことでこんなにも子どもたちは主体的に動き『子どもコーナーを自分たちで運営している!』という意識になるのだと思った。しかも、終始楽しんで関わっていたことが何よりだった。気がついてみれば、今回初めて近くの川にあそびに行ってしまう子どもがいなかった…ということは、自分たちの役割をそれぞれが協力し合ってやる楽しさの方が大きかったから!?

子どもたちが夢中になれる時間、今だからこそできる濃密な時間…大人はそれを保障し続けられればいい。子どもたちは、その時間を積み重ねられればいい。それぞれの心の引き出しにたまっていけばいい。「こんな経験をしたからこんな大人になるよね」ではなく、今を生きてほしい。

児童文学者の石井桃子さんのことば

『子どもたちよ 子ども時代を しっかりと たのしんでください。おとなになってから 老人になってから あなたを支えてくれるのは 子ども時代の 「あなた」です。』

「言いたい!決めたい!やってみたい!」がどんな場面でもあることを願って。

子ども劇場 舞台鑑賞情報

★参加方法などについては各地の子ども劇場事務局までお問い合わせください。

作品名(団体名)	月日(曜)	開演時間	会場	主催
ゆらとまあばあちゃん ～おばあちゃんのおきおく～ (アフタフ・バーバン)	9月20日(金)	19:00	メルカつきまちホール (長崎市)	ながさき子ども劇場
	9月22日(日)	18:00	西諫早公民館(講堂) (諫早市)	諫早子ども劇場
11ぴきのねこ(人形劇団クラルテ)	12月7日(土)	15:30	長崎ブリックホール国際会議場	ながさき子ども劇場
ジンマサフスキーの サイレントコメディー (ジンオフィス)	12月19日(木)	19:00	西諫早公民館(講堂) (諫早市)	諫早子ども劇場
	12月20日(金)	19:00	メルカつきまちホール (長崎市)	ながさき子ども劇場
	12月21日(土)	16:30	アルカスSASEBO第2リハーサル室 (佐世保市)	佐世保子ども劇場

**NPO法人
長崎県子ども劇場連絡会**
〒850-0057
長崎市大黒町 4-26
北村第一ビル 303 号室
TEL: 095-825-0533
FAX: 095-825-6151
E-MAIL: n.kogeki@alto.ocn.ne.jp

県内子ども劇場
ながさき子ども劇場
TEL: 095-825-0533
佐世保子ども劇場
TEL: 0956-22-6747
諫早子ども劇場
TEL: 0957-23-5689
壱岐子ども劇場
TEL: 0920-44-5010

Web サイト

<http://www.nakogeki.sakura.ne.jp/>

発行
NPO法人長崎県子ども劇場連絡会
★ご意見・ご感想をお寄せください。

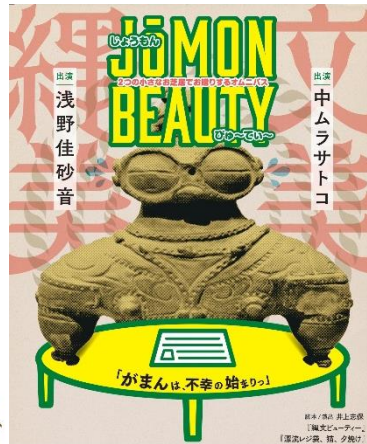
★編集後記★

日本が子どもの権利条約を批准して30年。子どもの居場所づくりに関する指針は、2023年12月22日に閣議決定され、こども家庭庁が推進している重要な政策の1つ。「居場所とは、主観的側面を含んだ概念である。したがって、その場や対象を居場所と感ずるかどうかは、こども・若者本人が決めることであり、そこに行くかどうか、どう過ごすか、その場をどのようにしていきたいかなど、こども・若者が自ら決め、行動する姿勢など、こども・若者の主体性を大切にすることが求められる。」と指針には書かれてある。

この夏、2泊3日の高学年キャンプに参加した。班名、メニューは班会で相談し食事づくりでは何をするかを自分で決め、沢下りでは仲間を気遣い複数の男子が手を引いて歩く場面もあった。参加者一人ひとりが自分で考えて動きながらキャンプは進んでいく。ゆったりとした時間の中で自分の気持ちを青年に話したり、年上とか年下とかではない対等感を会話の中で感じた。そのままの自分を安心して受け入れてもらえる場なのだろう。昔からよく言っていた子どもに大切な三間(時間・空間・仲間)がそこにはあった。私たちの活動も「子どもの居場所」の1つになっている。「来年も絶対参加する!」という言葉聞いて嬉しくなった。(T)

九州コーディネイト企画

5000年の長い眠りから目覚めた、とびっきりチャーミングな土偶!しかし、彼女を待ち受けたのは容赦ない現代のしがらみだった。愛と祈りと切実さが入り交じる就職活動が続く...



縄文ビューティー

- ◆日にち:11月9日(土)
- ◆会場:長崎ブリックホール
リハーサル室
- ◆時間:午後2時開演
(30分前開場)
- ◆チケット:3,000円
※当日 3,500円
- ◆主催:ながさき子ども劇場
実行委員会

団体概要

子どもの豊かな成長と地域の子どもの文化芸術振興に寄与することを目的に2002年にNPO法人として活動を開始しました。長崎県内にある4つの子ども劇場や、子どもに関わる団体や個人の方とのつながりを大切にしながら、地域の文化活動を支援しています。長崎県子ども舞台芸術祭典や舞台公演のコーディネイト、講演会や学習会などの事業を行っています。

子どもに夢を!
たくましく豊かな創造性を!
私たちは子どもの文化を応援します。

長崎ヤクルト株式会社

長崎市樺島町4番18号
TEL095-821-8960

社会福祉法人小野保育園

諫早市小野町 676-2
TEL0957-23-0120

ダイハツチバナ
有限会社 林田車体工業

〒854-0126 諫早市松里町 288
TEL 0957-23-5318 FAX 0957-24-1378

ますみクリニック

〒850-0952 長崎市戸町2丁目20-57
OKホーム&ガーデン戸町店横 弁慶岩バス停前



古豊歯科医院

長崎市小峰町 3-16
☎ 095-843-4165

ホテル ウイング・ポート長崎

医療法人 マツオ内科クリニック

〒854-0072 諫早市永昌町43-6

TEL 0957-25-2225
FAX 0957-25-2220

文明堂総本店

長崎市江戸町1番1号
TEL 0120-24-0002



雲仙市愛野町乙 5864

☎0120-54-1238
月曜~土曜 受付時間 9:00~16:30

FAX 0956-58-3637
24時間受付(年中無休)